

2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

1. 動向

2019年4-6月の延べ宿泊客数（全体）は「1,951,880人」、前年同期比で「98.9%」でした。

日本人延べ宿泊客数は「1,718,480人」、前年同期比で「99.7%」でした。

外国人延べ宿泊客数は「233,400人」、前年同期比で「92.9%」でした。

過去5年の同期比では4月の日本人宿泊客数、5・6月の外国人宿泊客数が最多を記録しました。

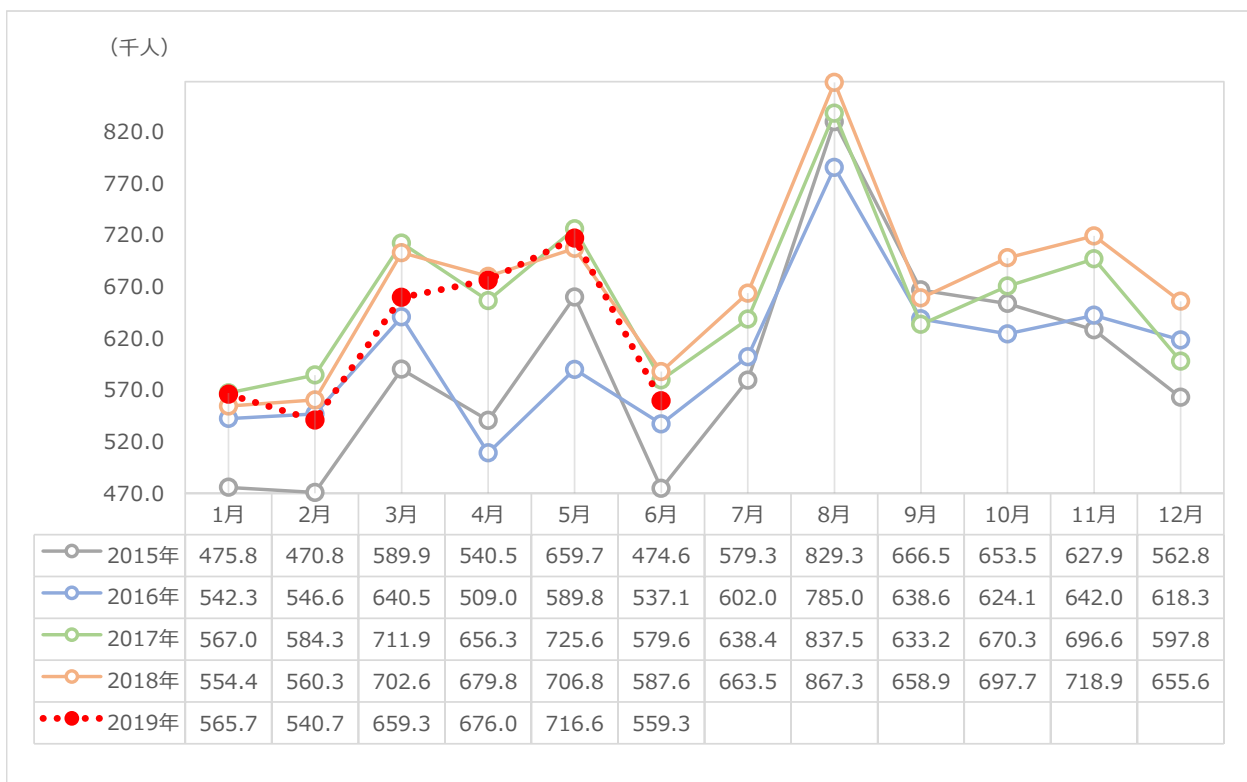
2. 延べ宿泊客数

総数：	1,951,880	人	（前年比： 98.9 %）
4月：	675,990	人	（前年比： 99.4 %）
5月：	716,600	人	（前年比： 101.4 %）
6月：	559,290	人	（前年比： 95.2 %）

※前年比・・・2018年2Qとの比較

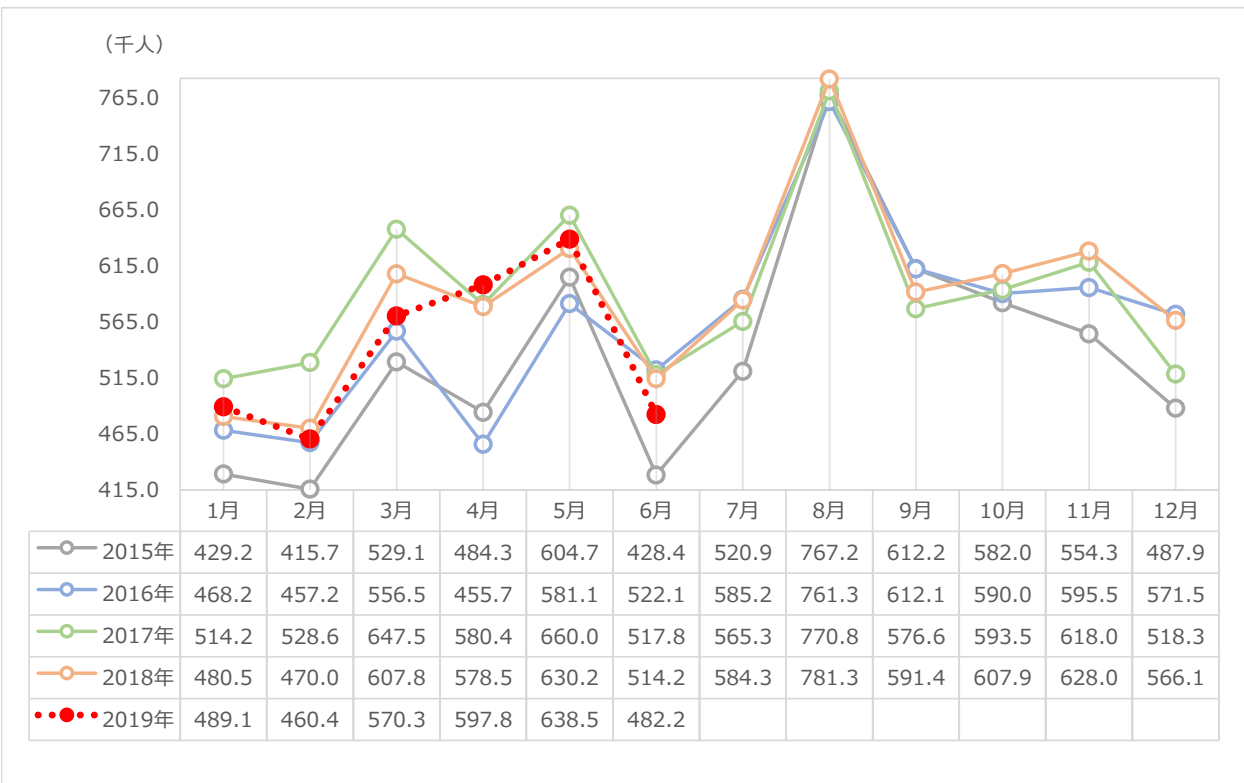
3. 推移

① 延べ宿泊客数（全体）

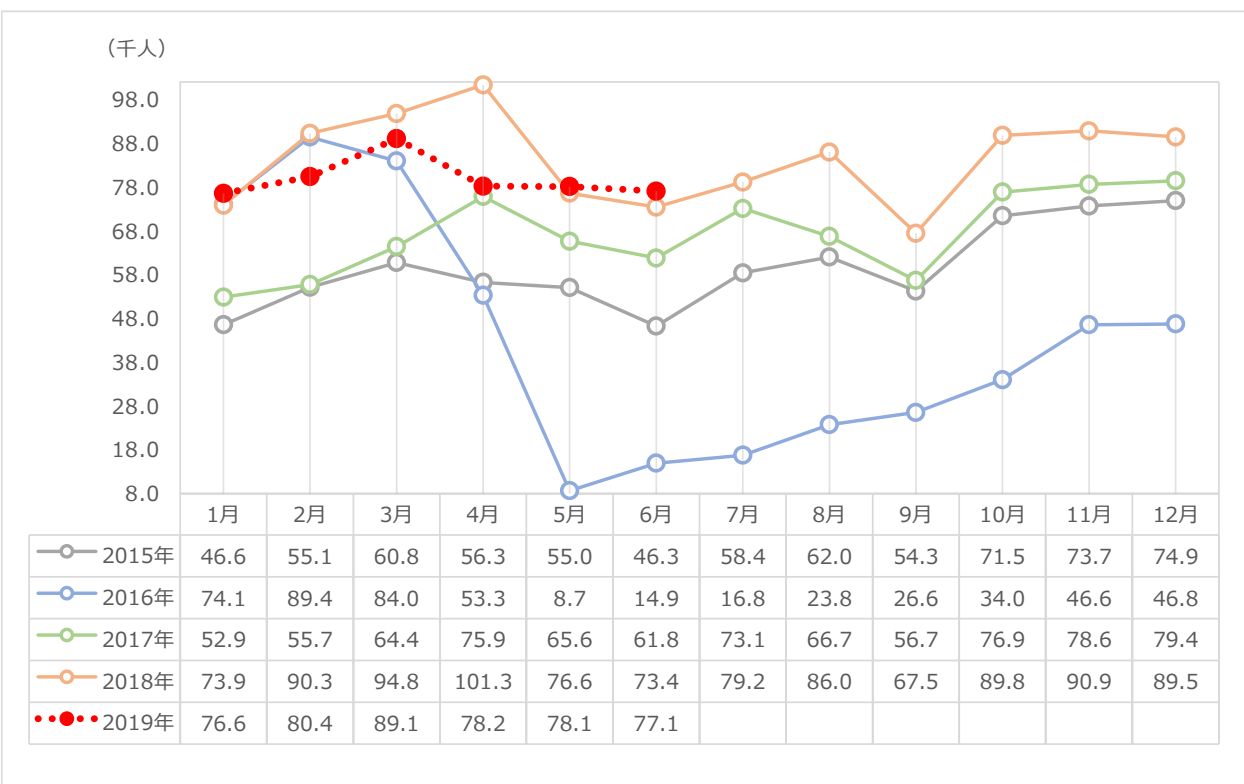


2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊客数

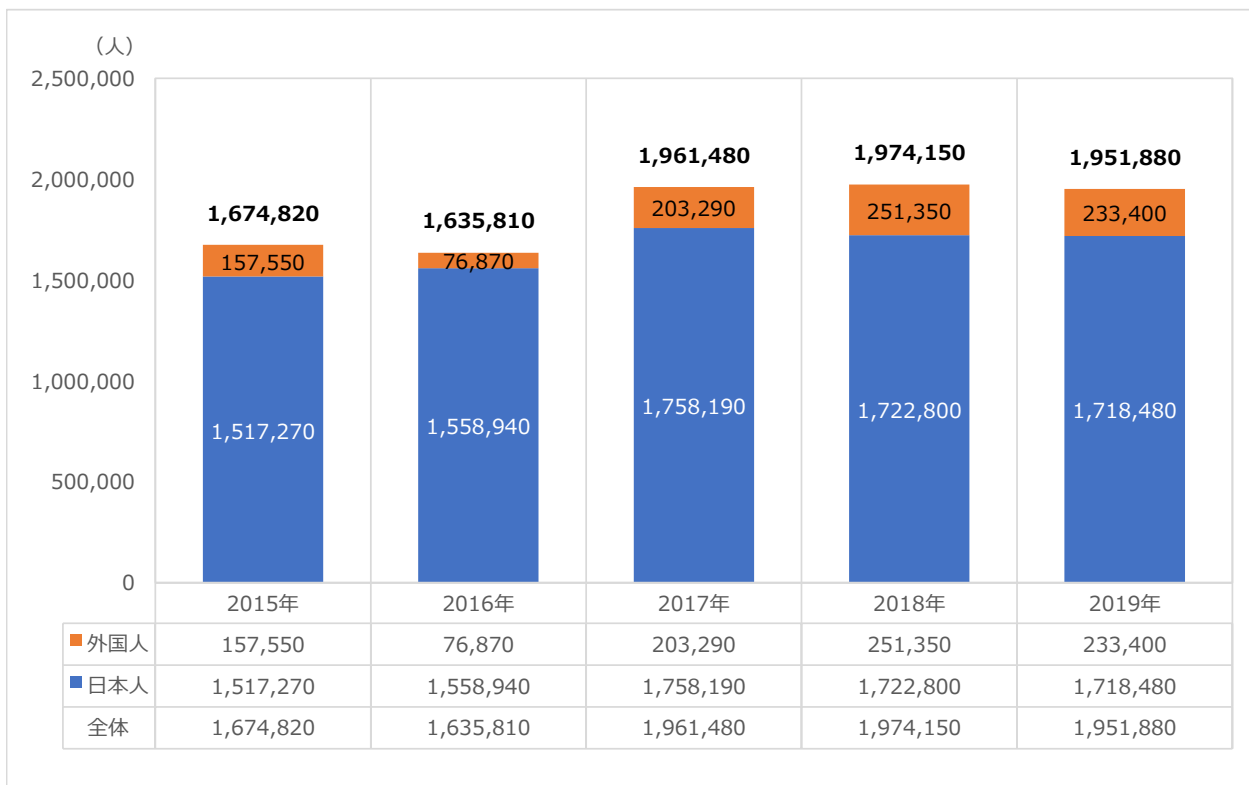


③ 外国人延べ宿泊客数

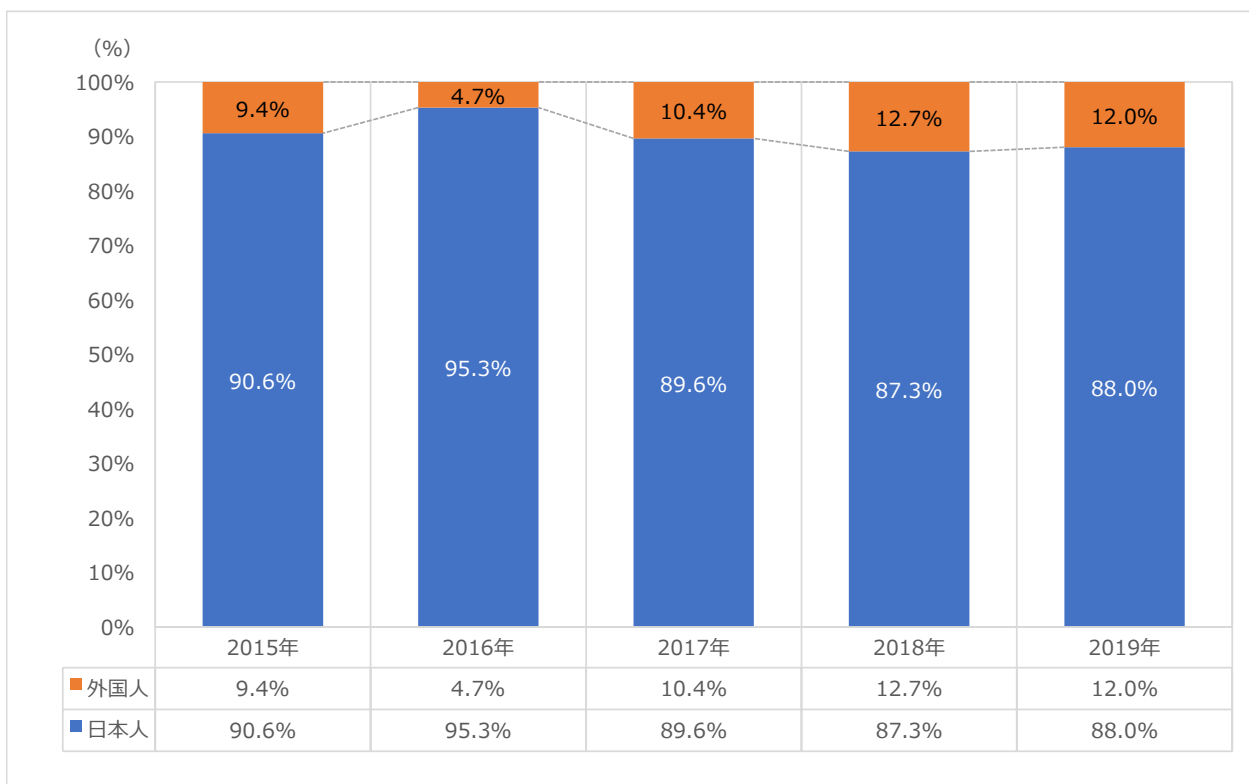


2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

4. 日本人・外国人別延べ宿泊客数



5. 日本人・外国人別延べ宿泊客数の割合

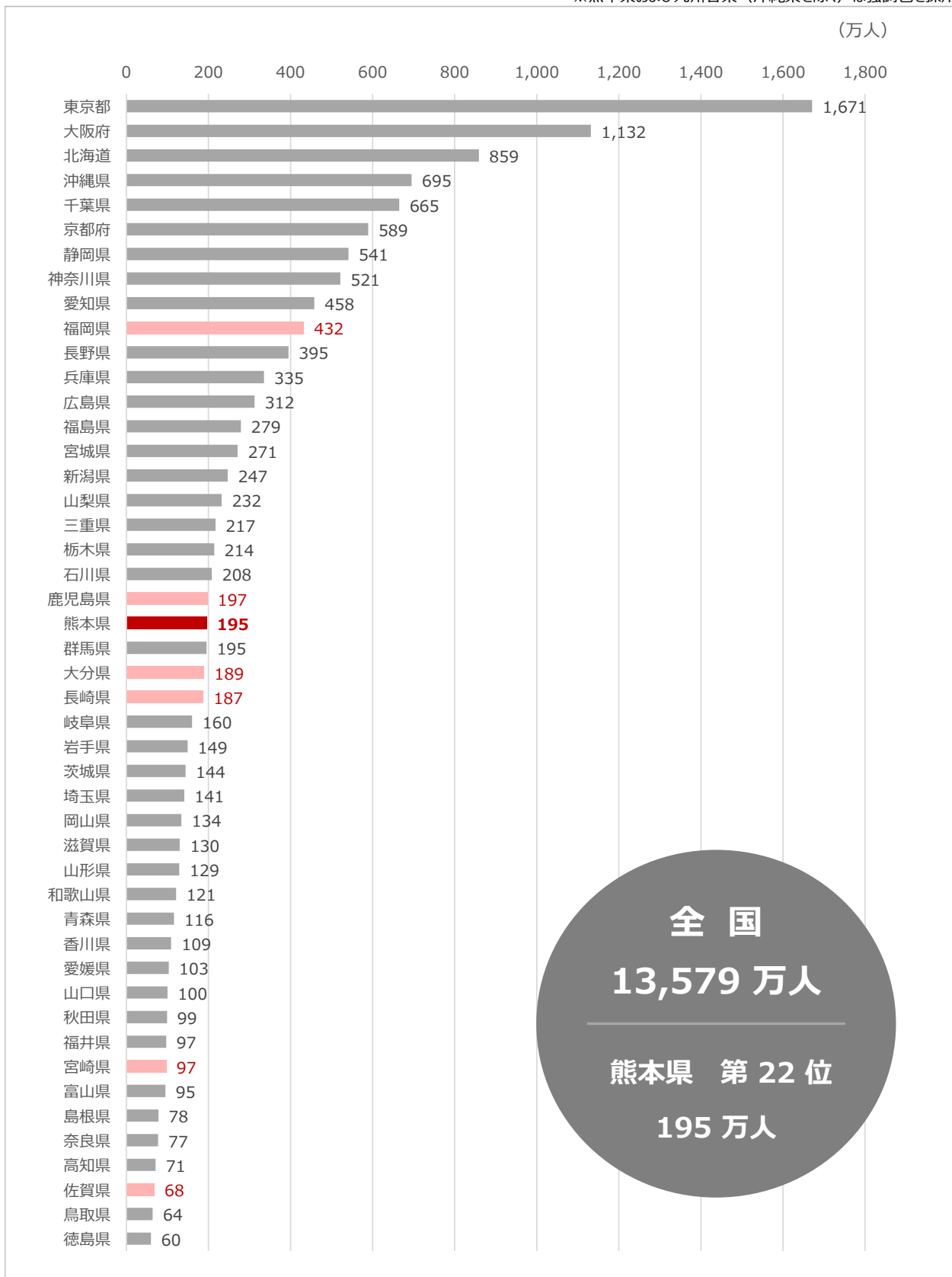


2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊客数

① 延べ宿泊客数（全体）

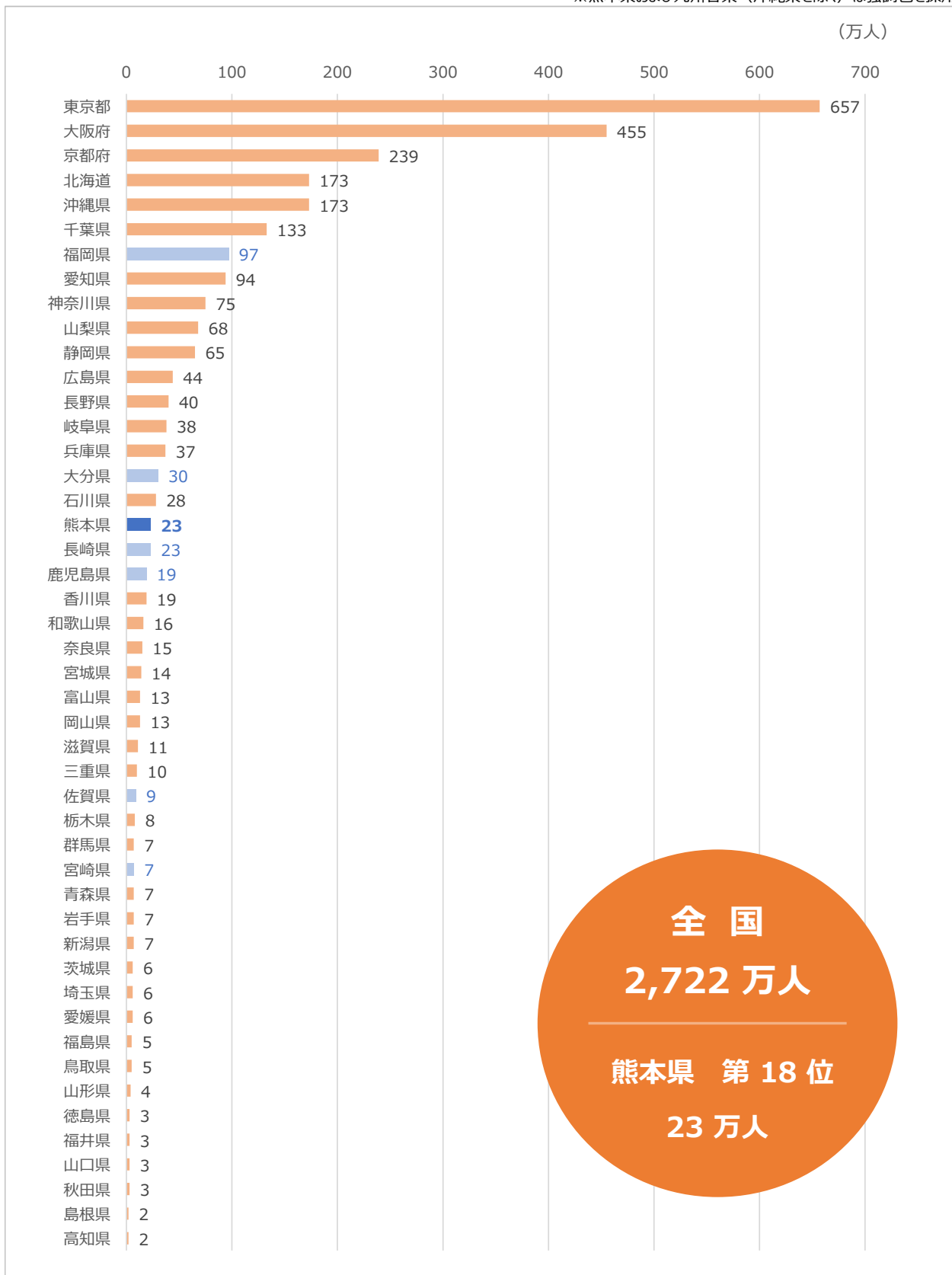
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

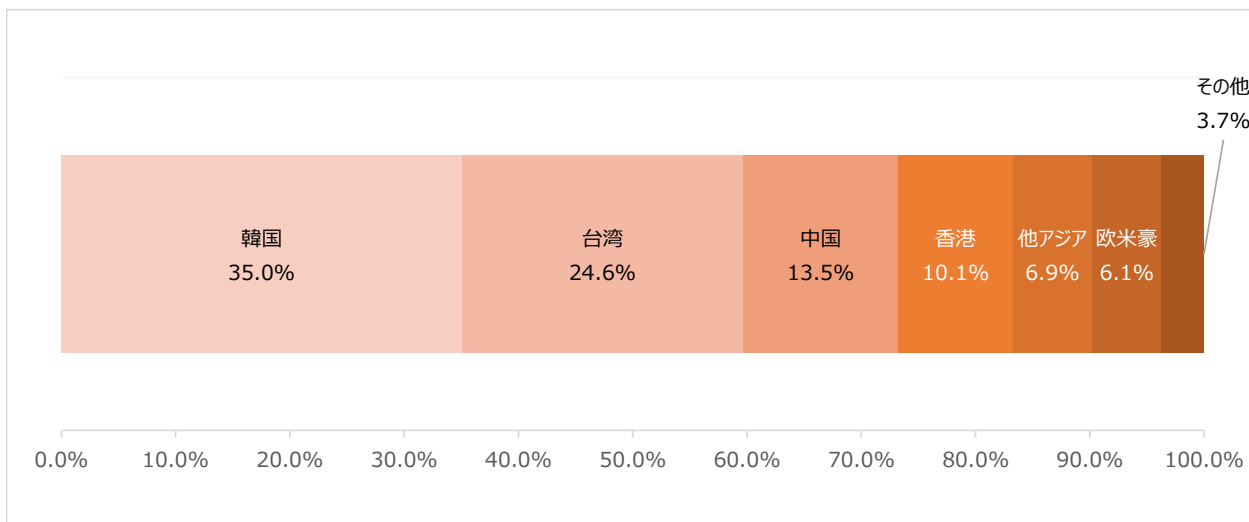
③ 外国人延べ宿泊客数

※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

7. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊客数の構成比



2019年2Qの国籍（出身地）割合は、「韓国」が「35.0%」で最も多く、次いで「台湾」が「24.6%」、「中国」が「13.5%」と続きました。

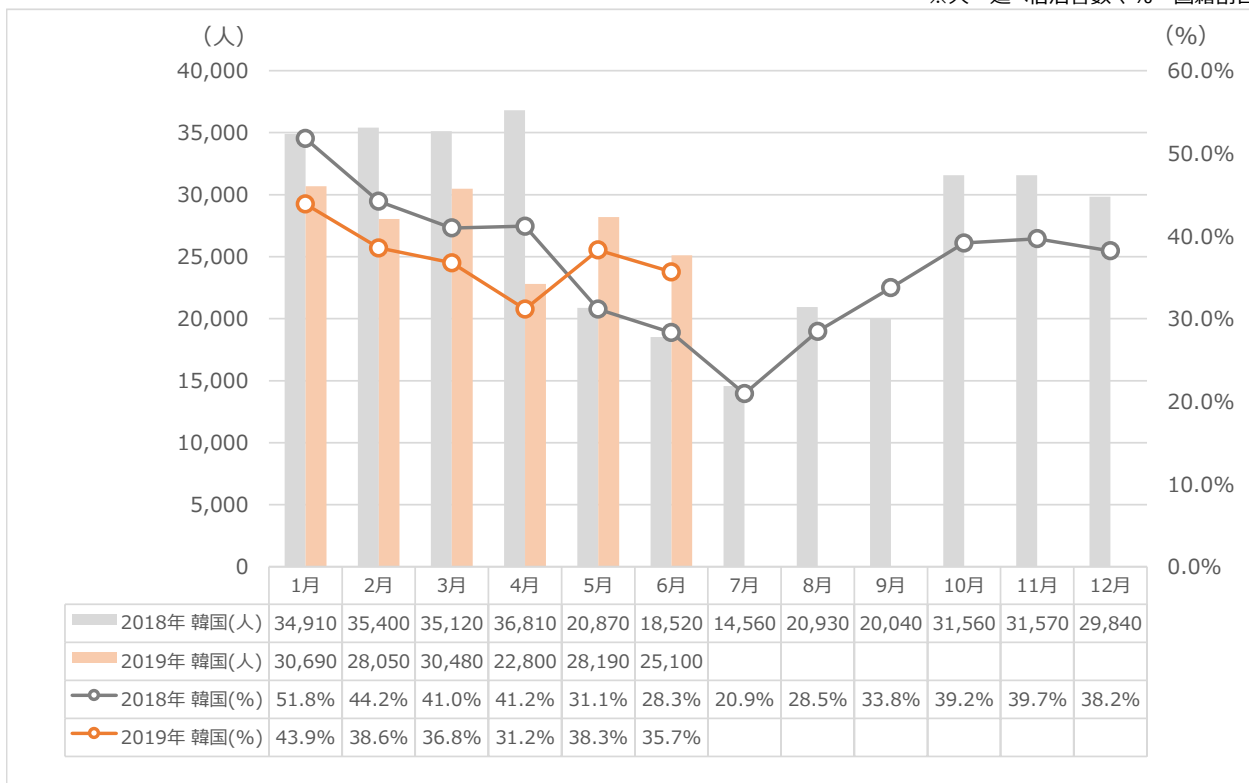
欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
 他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
 その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

8. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊客数・割合

[従業者数10人以上の施設に対する調査から作成]

① 韓国

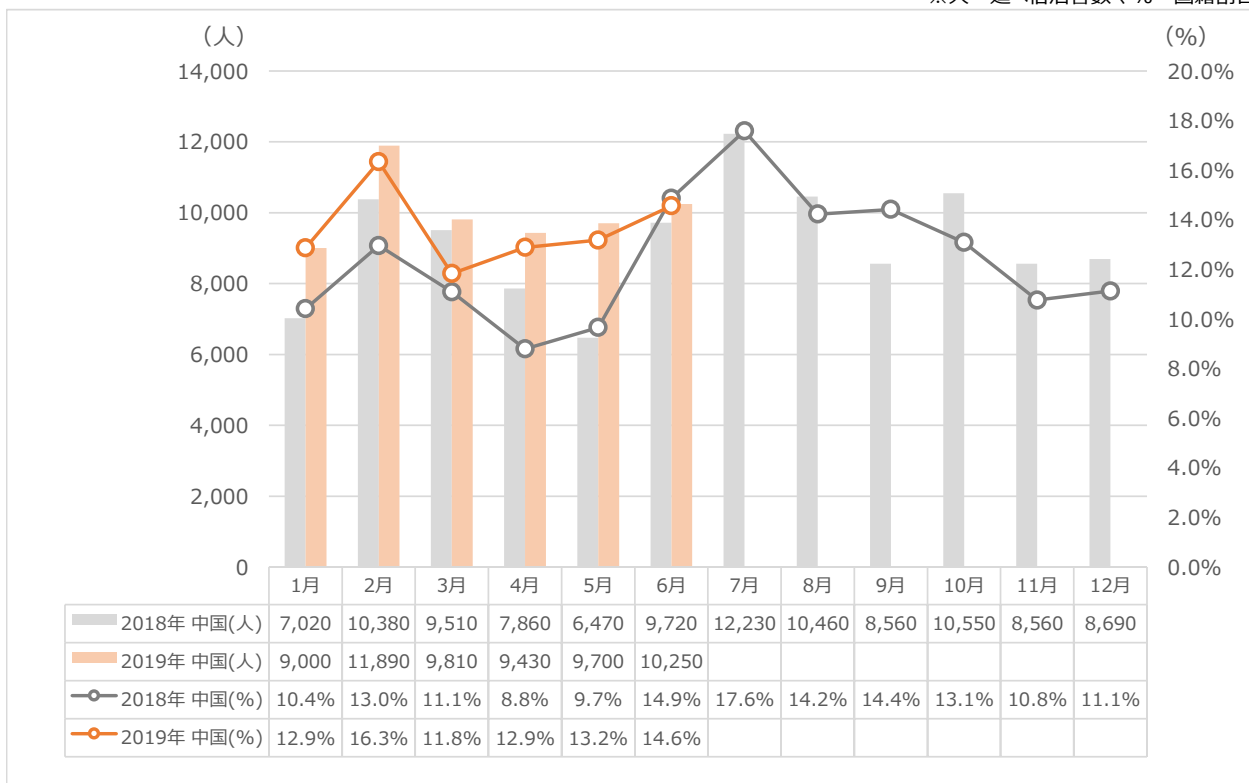
※人＝延べ宿泊客数、％＝国籍割合



2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

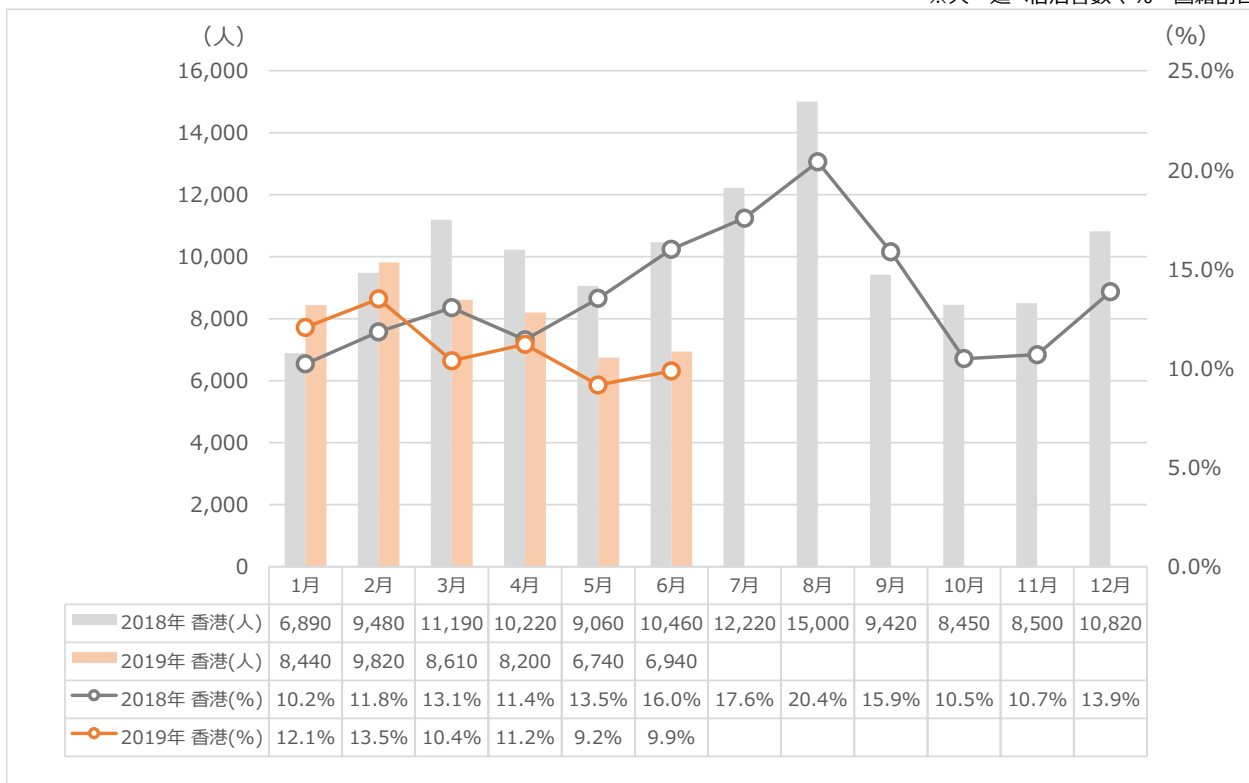
② 中国

※人=延べ宿泊客数、%=国籍割合



③ 香港

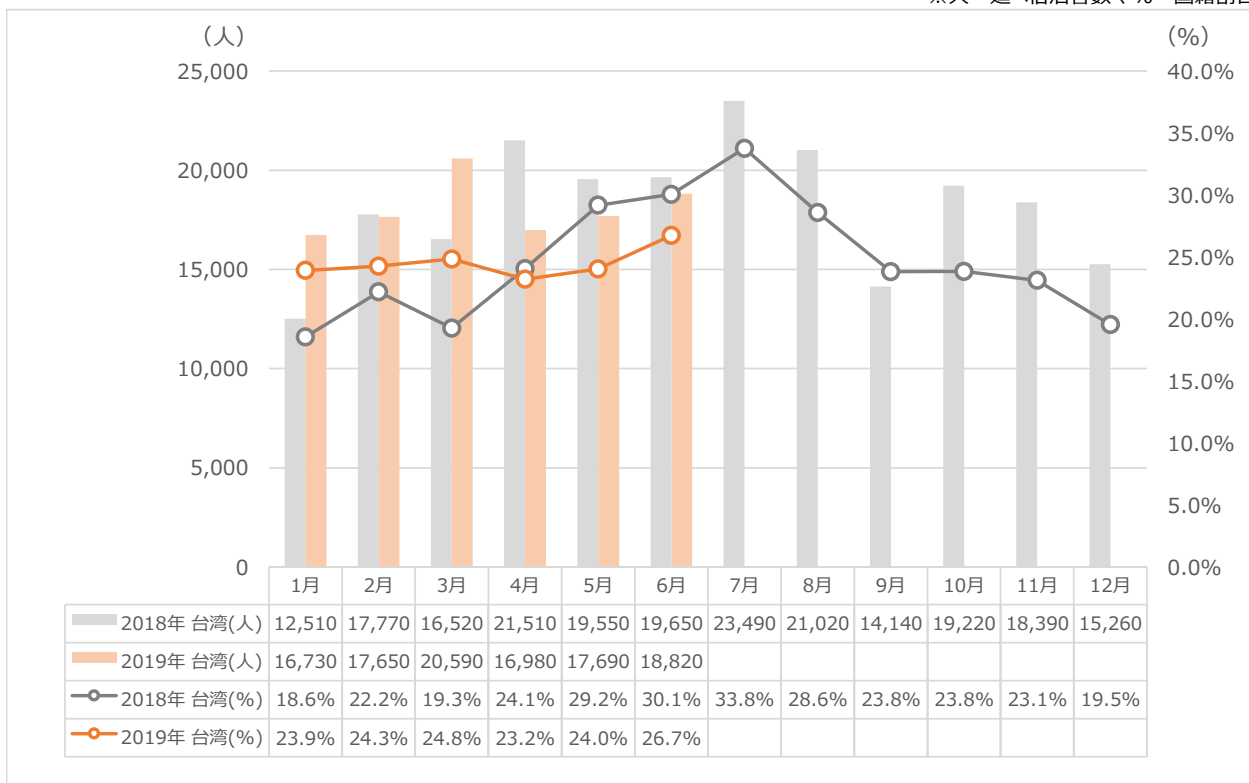
※人=延べ宿泊客数、%=国籍割合



2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

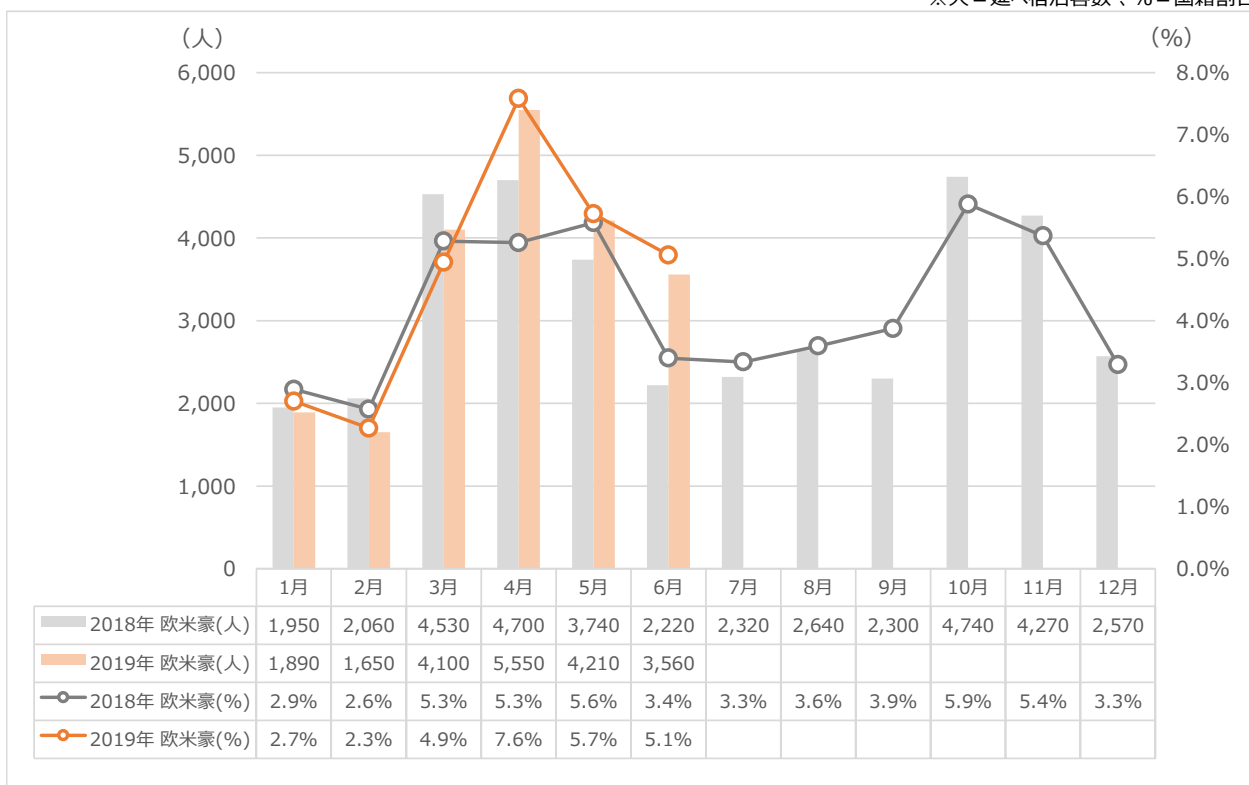
④ 台湾

※人=延べ宿泊客数、%=国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

※人=延べ宿泊客数、%=国籍割合

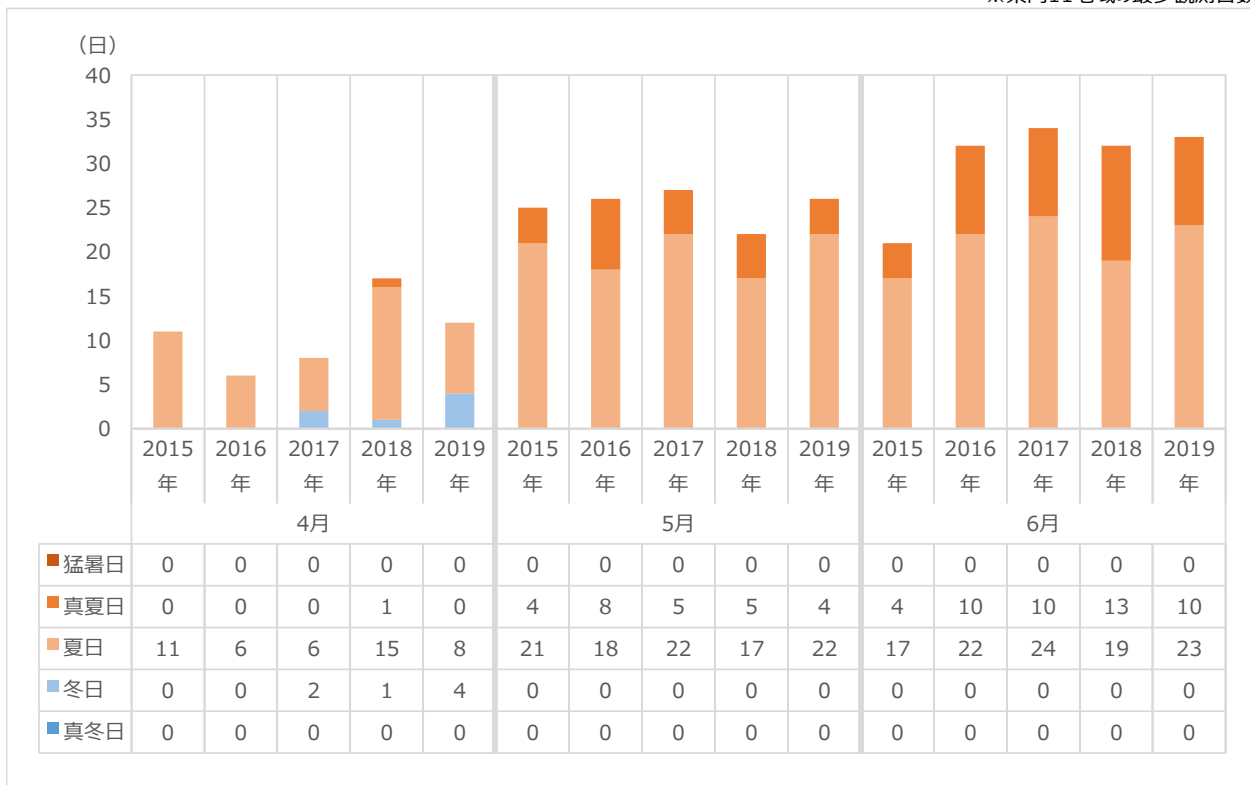


2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

9. 気象情報

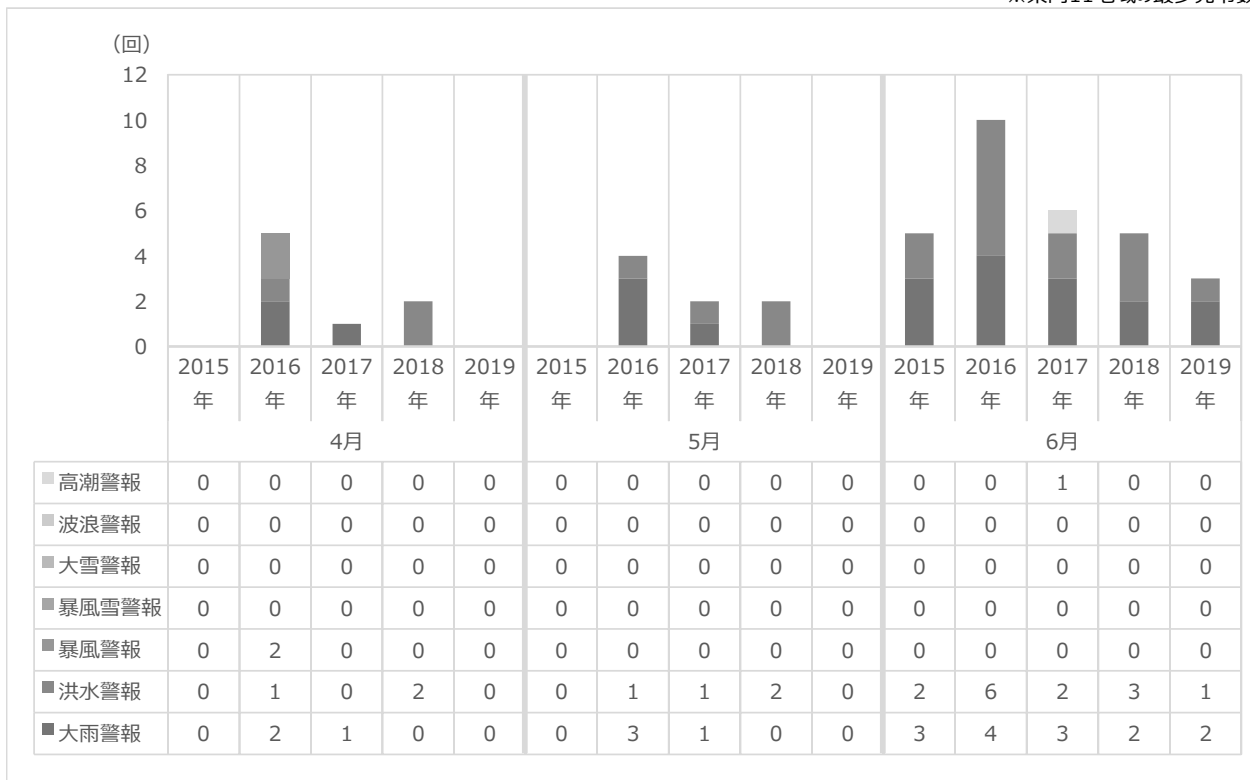
① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日（観測日数）

※県内11地域の最多観測日数



② 警報発令数

※県内11地域の最多発令数



2019年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など

[特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

- ・「ひろしまフラワーフェスティバル」で熊本県の魅力を発信（広島市：5月3日～5日）
- ・熊本県×日本旅行「熊本・玉名においてプロジェクトin小倉駅」開催（北九州市：5月19日）
- ・西鉄×熊本県「阿蘇びに行こうよプロジェクト」開催（福岡市：6月25日）
- ・県内全域で夏日・真夏日を観測
- ・気象注意報においては「強風」「雷」の発令が目立った
- ・気象警報は「大雨」「洪水」が発令されるも発令数は少なかった
- ・新元号発表、出入国在留管理庁設置（4月1日）
- ・日本銀行券新札・500円硬貨イメージ発表、1,000円札に北里柴三郎（4月9日）
- ・香港：逃亡犯条例改正案発表後、デモ継続中 ⇒ 香港エクスプレス運休（3月30日～7月20日）
- ・フランス：ノートルダム大聖堂大火災（4月15日～16日）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

春休み後半（4/1～4/7）の宿泊客数（総数）は県内全域で昨年を下回りました。

また、ゴールデンウィーク期間中（4/27～5/6）は終盤に減少をみせたものの、高水準を維持しました。

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。

- (1) 延べ宿泊客数、日本人・外国人別延べ宿泊客数・割合、国籍（出身地）別延べ宿泊客数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」を四半期ごとに集計した値
※2015～2018年は確定値、2019年は速報値を採用
- (2) 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
- (3) 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
- (4) 観光シーズンの動向
観光予報プラットフォーム推進協議会が提供する「観光予報プラットフォーム」の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
⇒ 事務局：公益法人日本観光振興協会

2. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。

端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊客数と一致しません。

* 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。